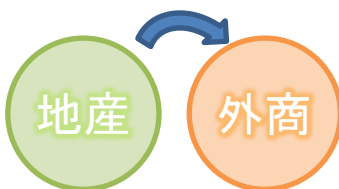


これまで

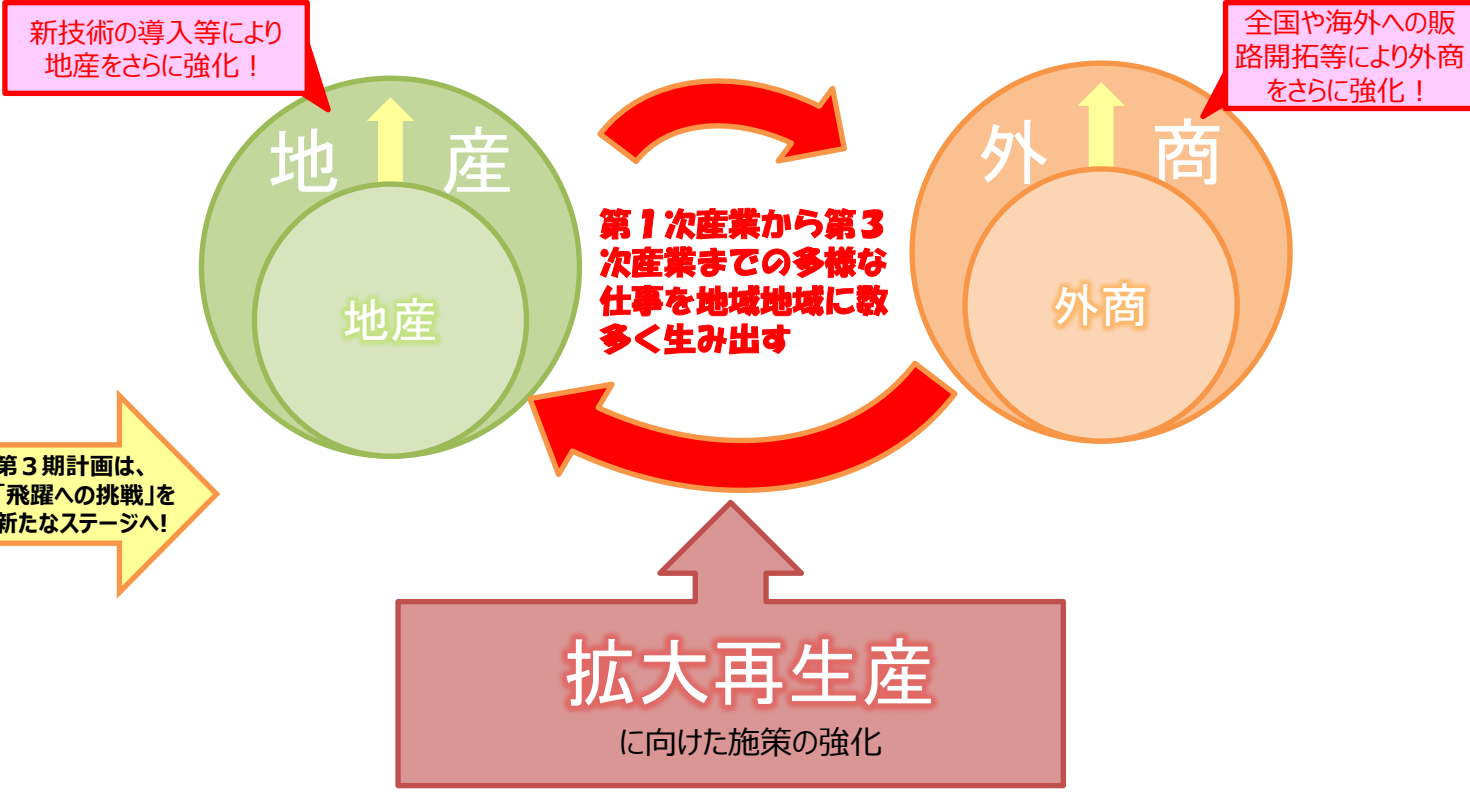
第3期産業振興計画

【成果】
地産外商が進み、長年にわたって減少傾向にあった各分野の産出額等が上昇傾向に転じる



【課題】
「地産」と「外商」の取り組みは拡大してきたが、さらに、より確実に「拡大再生産」につなげられるかがこれからのポイント

「地産外商」の取り組みをさらに強化し、
その成果をより力強く「拡大再生産」の好循環につなげることを目指す！



新技術の導入等により地産をさらに強化！

全国や海外への販路開拓等により外商をさらに強化！

第3期計画は、「飛躍への挑戦」を新たなステージへ！

次の3つのポイントで施策を抜本強化することにより、「拡大再生産」への流れをより大きなものにしていく

強化ポイント①
時間軸的な拡大再生産
「担い手の育成・確保」

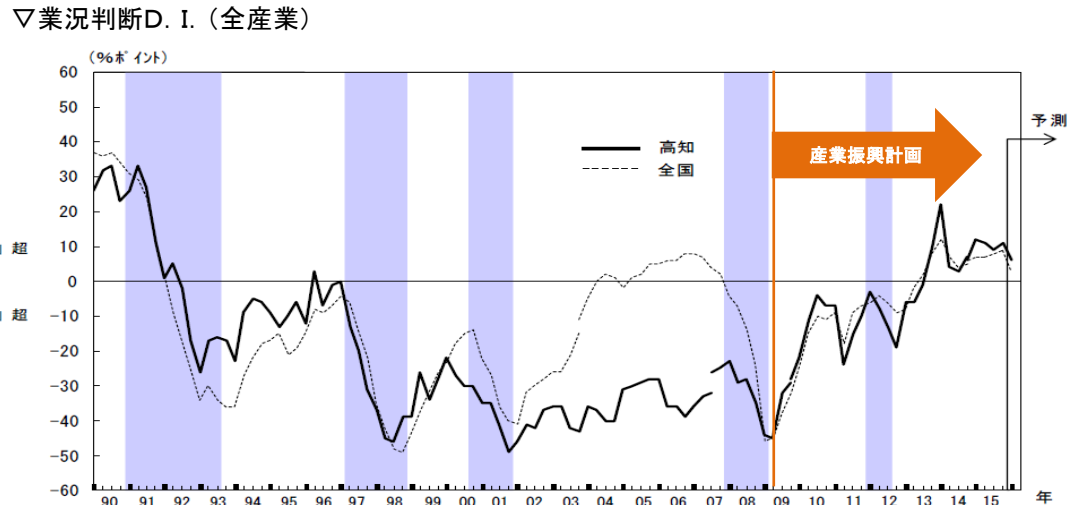
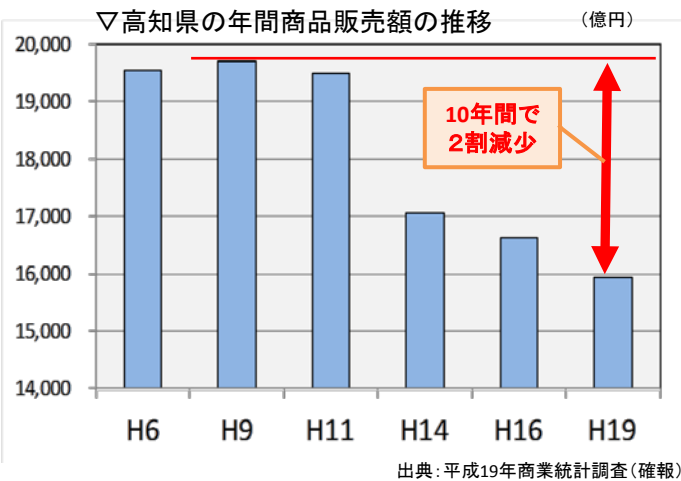
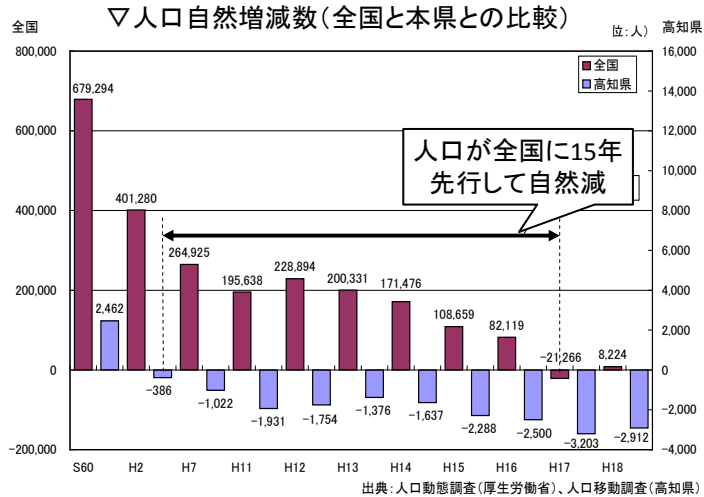
強化ポイント②
量的な拡大再生産
「地域産業クラスターの形成」

強化ポイント③
質的な拡大再生産
「起業や新事業展開の促進」

高知県の経済情勢

- 人口の自然減・高齢化の進展などにより、
- 平成9年から19年にかけて県内市場はどんどん縮小

- 平成14年から22年頃にかけて景気の回復の波に乗れず、全国平均等に大きく引き離される状況が続いてきました
- 今は、全国と同じように上がってきてつつあります

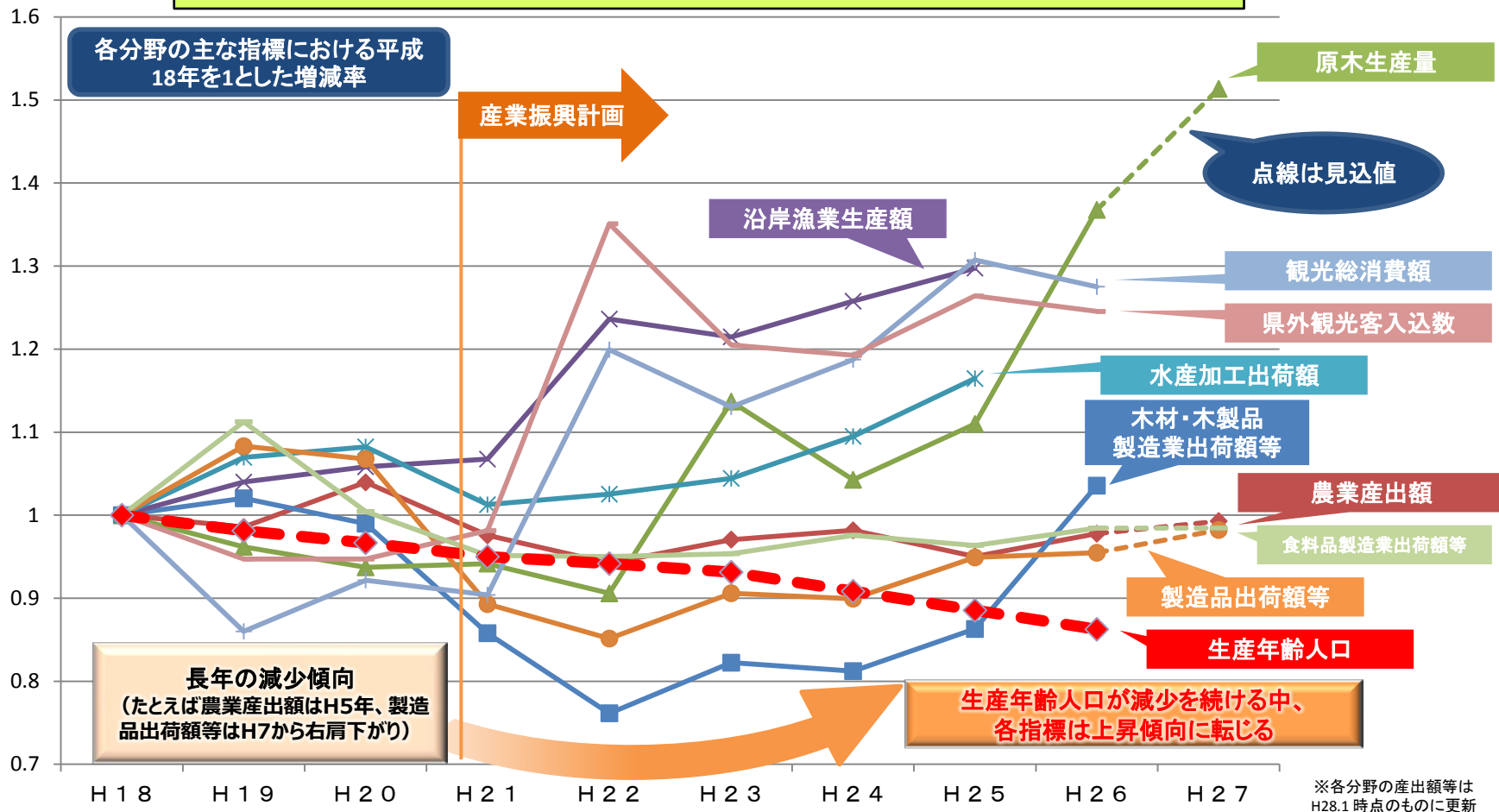


第2期産業振興計画の実行3年半の取り組み総括（全体まとめ）

地産外商が大きく進み、長年に渡って減少傾向にあった各分野の産出額等が上昇傾向に転じてきました。また、各分野で多くの雇用が生まれ、有効求人倍率は過去最高を更新(1.05倍)するなど、経済全体は良い方向に向かっています。しかしながら、上昇傾向に力強さが欠ける分野や、地産外商の成果が拡大再生産に十分につなげていない分野も見受けられます。

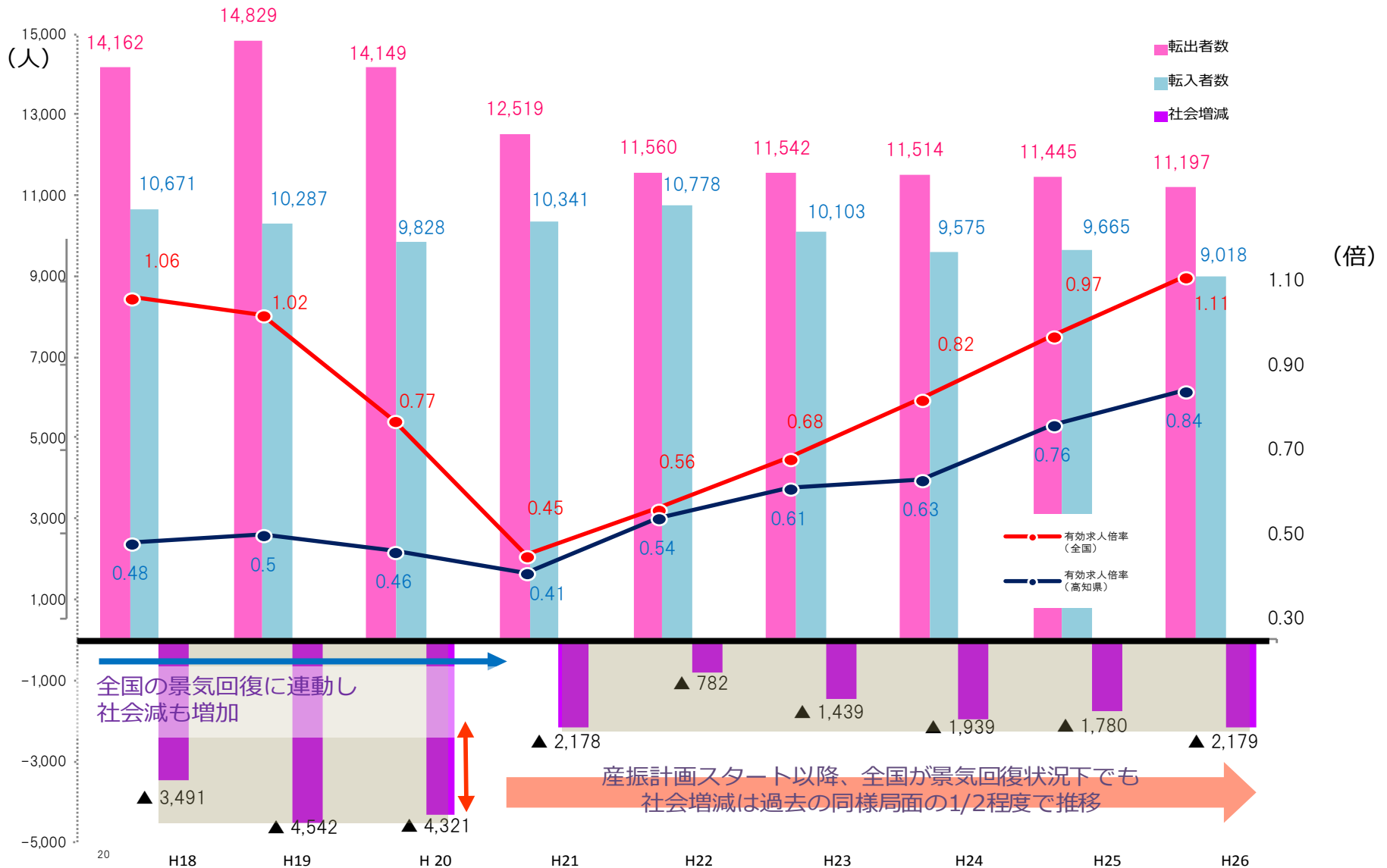
「地域地域で若者が誇りと志を持って働ける高知県」を実現するため、今後、さらなる取り組みのバージョンアップを図り、上昇傾向をさらに伸ばし、より力強い拡大再生産のループに乗せていく必要があります。

各分野の産出額等が上昇傾向に転じる(上昇傾向に力強さが欠ける分野も)



景気動向と人口の社会増減の推移

～過去の景気回復局面と比べても、社会減の幅は縮小～



(出典) 高知労働局